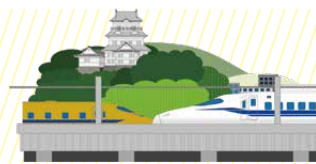


小田原TOPICS



(仮称)新坂下トンネル 令和 8年春開通予定!



県西地域の交通ネットワーク強化に向け、整備が進められてきた「(仮称)新坂下トンネル」が、令和8年(2026年)春に開通する予定です。この路線は、小田原市役所や小田原駅など中心エリアと市北部方面を繋ぐ重要な幹線道路です。全長約220mのトンネル区間は令和5年6月に無事貫通し、現在、供用開始に向けた工事が着々と進んでいます。

開通により、交通の利便性向上はもちろんのこと、災害時の緊急輸送道路として、また新病院へのアクセス道路としての機能強化が期待されます。小田原市ではこの新トンネルの正式名称を昨年11月に募集し、3月に新名称が発表予定です。

酒匂川^{かち}徒歩渡し

湘南建設業協会や小田原地区木材業協同組合等が開催した「城下町小田原の発展と酒匂川徒歩渡し」再現イベントに参加しました。江戸時代に使われていた復元された木製の乗り物「輦台(れんだい)」に乗り、皆様に担いでいただき川の中州まで往復しました。

揺れる輦台の上から見る景色は、当時の旅人の目線を追体験させてくれる貴重なもので、歴史の教科書でしか知らなかった「徒歩渡し」を五感で体験し、酒匂川が東海道の難所の一つであったことを実感しました。この歴史的な文化を未来に残していくことの重要性を再認識した、深く印象に残る一日となりました。



令和8年 4月1日 から! 自転車の違反にも 青切符が導入!

自転車の交通違反にも、自動車と同様に「交通反促通告制度(いわゆる青切符)」が導入されます。

新しい自転車の
ルールなどについては、
神奈川県
「自転車ルールブック」を
ご覧ください!

傘さし
〈反則金〉
5,000円

イヤホン使用
〈反則金〉
5,000円

二人乗り
〈反則金〉
5,000円

並進
〈反則金〉
3,000円

携帯電話の使用等
(保持)
〈反則金〉
12,000円

一時不停止
〈反則金〉
5,000円



提供: 神奈川県くらし安全交通課

Yoshinaka Press

神奈川県議会議員 議会報告 2026. JAN. Vol. 30

おざわ良央^{よしなか}

発行: おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪 166
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com



希望に満ちた一年を

新たな年を穏やかに迎えました。平素よりあたたかなご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は物価高騰が生活に大きな影響を与える一方、防災・減災対策や地域インフラの重要性が改めて浮き彫りとなりました。小田原市では、新たな交通動脈として期待される(仮称)「新坂下トンネル」の開通が控え、地域の災害への備えや経済活動の活発化に大きく寄与するものと期待しております。

国政では高市内閣が誕生し、新たな政策運営が始まる節目の年となりました。県政としても国や市町との連携を深め、地域課題の解決に確かな歩みを進めていく必要があります。私も、小田原市をはじめ県西地域の課題に真摯に向

き合い、2月には一般質問で地域の皆様の目線から見た地域の課題を質問し、地域課題の解決につなげてまいります。

また、昨年11月には議員活動10年以上の議員活動を評価いただき、自治功労者表彰を受章いたしました。これも皆さまのご支援のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

本年も「現場主義」と「対話」を大切に、県民の皆さまに寄り添う県政の実現に全力で取り組んでまいります。皆さまにとりまして希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

自治功労者表彰受章



11月28日、全国都道府県議会議長会より議員在職10年以上に及ぶ永年勤続功労者として表彰を受けました。日頃よりご支援をいただいている皆様のおかげで、このような表彰を受けることができた。今後も皆様と共に小田原、県西地域の発展に尽くして参る所存です。

一般質問傍聴



バスツアー
開催!

2/25水

第1回定例会にて一般質問を行います。

是非傍聴ツアーにご参加ください!

詳細はおざわ事務所までお問い合わせください



神奈川県〈令和8年度〉財政収支見通し

神奈川県が令和8年度財政収支の見通しを昨年9月に発表しました。
2月の第1回定例会にて正式な予算編成案が提出されますが、発表された令和7年度当初予算と比較した場合の主な増減要素をまとめました。

歳入
2兆2,200億円

—

歳出
2兆2,700億円

=

財源不足額
△500億円

(参考) 前年度の財源不足 △550億円

歳入	● 県税と地方譲与税は、賃上げに伴う個人所得の増加や物価上昇等に伴い、個人県民税や地方消費税の増収が見込まれることから、560億円の増。 ● 一方、地方交付税は、税収増等に伴い220億円の減。 ● 令和7年度当初予算編成では、税収増等による前年度からの財源活用や、財政調整基金の取崩しといった特例的な対応により、収支を均衡させたが、8年度は、こうした臨時的な財源(700億円)を除くと、歳入全体としては360億円の減。
歳出	● 公債費は、過去に大量発行した県債の償還ピークを過ぎたため、220億円の減。 ● 一方、介護・医療・児童関係費や、県有施設の更新等の政策的経費が360億円の増となることで、歳出全体としては140億円の増。
不財 足源 額	● 以上のことから、現時点では、500億円の財源不足を見込んでいる。

〈令和7年度〉9月補正予算案等を可決

令和7年第3回神奈川県議会定例会は9月8日から10月14日まで開かれました。
10月14日には、6月補正予算編成後の状況の変化を踏まえ、早急に対応する必要がある事業について、総額49億2300余万円の9月補正予算を可決しました。
このほか、神奈川県県税条例の一部を改正する条例などを可決しました。

■主な補正予算の内容

事業概要		予算額
地域医療提供体制の維持に向けた緊急支援		26億8,153万円
麻しんのまん延防止に向けた緊急的な取組		2,240万円
対日米産国 する産関 支自動車動 援車車税 に生産措 縮小置や	自動車部品サプライヤー等への支援	新分野への販路拡大及び業態転換等の支援のため、(公財)神奈川県産業振興センターが行う経営相談やセミナー等に対する補助 736万円
	信用保証事業費補助	「原油・原材料高騰等対策特別融資」を受ける際の信用保証料に係る補助の拡充期間の延長 9億3,216万円
	小規模企業者等設備貸与事業資金貸付金	(公財)神奈川県産業振興センターが実施する設備の割賦販売及びリース事業に対する貸付金の拡大 7億円 (一般会計からの繰出金3億5,000万円)
国勢調査の着実な推進		所要経費の増に対応するための市町村に対する交付金の増額 1億5,156万円

海岸侵食から 小田原海岸を守る!



私たちの住む小田原の海岸は日本有数の深さの『相模トラフ』と呼ばれ、深さ1,600mに達する海底谷の目の前に位置し、高波浪や海岸侵食等が起こりやすい海岸です。

令和元年の台風19号(東日本台風)は、小田原海岸に深刻な被害をもたらしました。
特に東町地区から前川地区にかけて、高潮と強風により生じた高波が海岸護岸を越えて家屋の損壊や床上・床下浸水などを引き起こし、市民生活に大きな影響を与えました。

こうした被害を受けて以降、これまで以上に海岸管理者である神奈川県に高潮対策として、護岸の嵩上げや養浜量の倍増などを強く要請してきました。現在、被害が甚大であった前川地区等の護岸の嵩上げ、同地区に加え国府津地区の養浜量の倍増、南町の荒久海岸では人口リーフの整備そして山王川河口の東町海岸では養浜に向けた検討作業など具体的な対策が県により精力的に進められています。



小田原城から眺める小田原市内

県の主な海岸侵食対策

前川地区嵩上げ工事

令和5年度より工事着手 全体延長1,150m
昨年までに215mが完成 今年度は120mを完成予定



前川地区嵩上げ工事

小八幡地区嵩上げ工事

令和8年度より官地の東側80mを工事着手予定

国府津地区・前川地区養浜工事

各地域において毎年各1,500㎡、合計3,000㎡の養浜工事を計画的に実施。
令和8年度以降も同量の養浜工事を継続予定

南町荒久海岸人工リーフ整備工事(165m×2基)

令和5年度に人工リーフ1(165m)が完成
令和6年度より人工リーフ2(165m)を工事中

東町海岸養浜工事

令和8年度以降に試験養浜を検討中



荒久海岸人口リーフ据付工事

写真提供：県小田原土木センター・県西部漁港事務所